

【幼保小連携推進テーマ】

施設一体型における保育士・教員の連携のありかた
～子どもたち・保護者の育ちを支援する力～

大曽根地区

横浜市立大曽根小学校
大曽根コスモス保育園

設定理由

- ★施設一体型となっている強みを生かし職員間の交流を深める。
- ★子どもの育ちに対する支援の共通理解をする。
- ★他者を意識した学びを経験し、豊かな成長に繋げる。

主な活動

- ①年度初めの職員間の打ち合わせ
- ②1年生との授業交流
- ③コスモス保育園の施設・保育見学
避難訓練参加
小学校の重点研究会参加
コスモス保育園運動会参観
- ④その他 保育園との交流

①年度始めの職員間の打ち合わせ

○昨年度の反省をいかし、
年度初めに職員間で打ち合わせを行った。

○職員の入替わりのある中、
今年度担当する職員同士の顔合わせをすることができた。

○ある程度の年間計画を立て、
年間の見通しを持つことができた。

②. 1年生との授業交流

【1年生 生活科 なつだ！とびだそう！】

コスモス保育園の園児と1年生が考えた水遊びを、行いました。



こんぱりやま



もちやをつくったよ！

②. 1年生との授業交流

【1年生 生活科 みんなあつまれ ワンダーランド！】

昨年度と同様に、
一年生の児童が考えたあきあそびを行う、
「あきまつり」に招待しました。

昨年度の反省をいかし、学年全体ではなく
1つのクラスを中心に交流を行いました。

どんぐりやまつぼっくりで、楽しいおもちゃをつくったよ！

【3年生 総合】

「ミニ先生になろうプロジェクト！
～保育園の先生にチャレンジ～」

ミニ先生になるために保育園の先生にインタビューをしたり、ミニ先生として園児と関わったりしました。



も楽

！

3. 小学校職員と園児の交流

- 小学校職員がコスモス保育園に赴き、「イングリッシュクラス」と「体操クラス」の見学を行った。
- コスモス保育園の職員が小学校の授業参観や、重点研究会の事後研究会に来ていただき、交流を行った。
- 大曾根コスモス保育園の夏祭りや運動会に大曾根小学校職員が参加をした。

4. その他保育園との交流

違う保育園との交流を行うことも
来年度以降の幼保小連携に繋がると考え、
コスモス保育園他、2つの保育園との交流も行った。

① おおつな保育園

② ぶれすと綱島ほいくえん

4. その他保育園との交流

① おおつな保育園

4年生は食品ロスを考えるためにオリジナルのふりかけを作って、おおつな保育園まで届けました。



4. その他保育園との交流

②ぶれすと綱島ほいくえん

楽しい英語の時間

3年生は大曽根コスモス保育園だけでなく、ぶれすと綱島保育園とも交流をしました。

また5年生児童も交流を行いました。
食品ロスについて考えたことを伝えに行きました。

また、若手の職員研修の一環として、
職業体験をさせていただきました。

5. 今年度のふりかえり

【成果】

○昨年度の反省をいかし、年度初めに打ち合わせを行うことで計画的に交流を行うことができた。

○大曾根コスモス保育園だけに限らず、他の保育園とも関わることで幼保小交流をスムーズに行うことができた。

○職員間の交流が増えたことで、互いの実態を把握することができ、日々の指導につなげることができた。

【課題】

- ▲年間計画を細分化できず、運動会前など、忙しい時期には直前の連絡になってしまうことがあった。
- ▲人数の関係で、学年全体と関わるというよりもクラス単位で関わるが多くなってしまった。
- ▲施設一体型ではあるが、今年度の交流が昨年度と同様の回数程度となってしまった。

【次年度に向けて】

- ①年度末の振り返りの実施
- ②年度始めの打ち合わせの実施
- ③年間計画の作成
- ④互いのカリキュラムの接続を検討し、新カリキュラムの作成